

会山行 No.2304

## 奥多摩：日原川 鷹ノ巣谷

- ◆日程 2020年9月5日(土)
- ◆メンバー L：SD、TY、OT、ST
- ◆天候 曇り

朝6時前下永谷駅前に集合し東名、圏央道から青梅街道を行き奥多摩駅の先から日原街道を行くと天気は快晴雲ひとつない、ひょっとして雨は降らないかとも思いながら8時過ぎに東日原の駐車場に到着した、手早く沢装備に着替えて巳ノ戸橋を目指して歩く。日原川に降りると靄がかかっていて少し涼しい、すぐに鷹ノ巣谷入渓ポイントを見つける。沢の水量はやや多め、丹沢の沢に比べて広く明るい谷が続く印象だ、苔むした岩が多い。午後過ぎに雨の予報だ、ハイペースで沢を進む、大きな滝もなく止まることなく古い石積み堰堤まで行く、ここまで1時間くらい、すでに汗だくだ、いまの高度は700m、200mも上がっていない。きょうの詰めは1500m超えだ、先が長い。

ここから2m～3mの滝が連続する、多段の滝もあるが止まることなく進む、なかなか高度が上がらない、高度860m、大滝2段18m、水流は勢い強く会話がかき消されてしまうのでホイッスルを準備しておく、流心の右壁(左岸)のラインを行く、高さはあるが登りやすかった(Ⅲ)。

大滝からすぐ、金佐小屋窪との二俣(1:1)を越えて、しばらくすると急に水勢がなくなり涸れ沢になる、更に高度を上げ1300mで詰めとなる、土がけを登り急斜面を行くと登山道に出た、核心と言われていたが割と楽だった印象だ(汗だくになったが。)

下山は稲村岩尾根登山道だが、入渓する際に”この先大崩落のため進入禁止”となっていた、不安をよそにつづら折りの道を進む、途中で稲村岩に遭遇する、巨大な岩山が尾根に突き刺さっている感じだ、この岩山を迂回する感じで進む。天気はなんとなく降りそうだ、あと30分くらいで下山と思ったとき大崩落が目下に現れた、巳ノ戸沢を渡れない、木々がなぎ倒され、谷が岩で埋まっていた、沢に降り慎重に進む、先の崩落した登山道にたどり着き巳ノ戸橋まで戻って来れた。駐車場に戻り雷雨がやって来る、ぎりぎり濡れずに撤収。(記：ST)

CT：巳ノ戸橋 8:30 - 10:30 大滝 - 稲村岩尾根登山道 14:30 - 駐車場 17:00

